

# 有害プランクトン情報(八代海)

調査日 調査機関  
 令和3年(2021年)7月16日 熊本県水産研究センター  
 検鏡方法:濃縮検鏡

## 【状況】

シャットネラ属が、依然として八代海の広範囲で分布しているようです。  
 コクロディニウム ポリクリコイデスも、八代海の広範囲で確認されました。  
 今後の天候や水質環境次第で増加する恐れがありますので、注意する必要があります。

定点番号	調査定点	調査機関	採水方法	シャットネラ属	コクロディニウム ポリクリコイデス	備考
1	戸馳島沖	熊水セ	柱状	-	0.002	
2	大築島北	-	柱状	-	0.084	
3	姫戸沖	熊水セ	柱状	-	0	
4	田浦沖	-	柱状	-	0.020	
5	津奈木沖	熊水セ	柱状	-	0	
6	水俣沖	-	柱状	-	0	
7	芦北地先	熊水セ	柱状	-	0	
8	津奈木地先	熊水セ	柱状	-	0	
9	御所浦島南	熊水セ	柱状	-	0	
10	牧島・眉島南	熊水セ	柱状	-	0.002	
11	大多尾沖	熊水セ	柱状	-	0	
12	宮野河内湾口沖	熊水セ	柱状	-	0	
13	楠浦湾	-	柱状	-	0.008	柱状採水を実施
	楠浦湾5m	-	層別	-	-	
A	姫戸ブイ0m	-	層別	-	-	
	姫戸ブイ5m	-	層別	-	-	
C	大多尾ブイ跡	-	柱状	-	-	

## 【備考】

シャットネラ属は通常検鏡で確認されているため、濃縮検鏡していません。

※本調査は熊本県水産研究センター、鹿児島県水産技術開発センター、東町漁業協同組合による共同調査です。

※数字は検査結果を濃縮倍数で割り戻し、海水1mL当たりの細胞数に換算した値です。

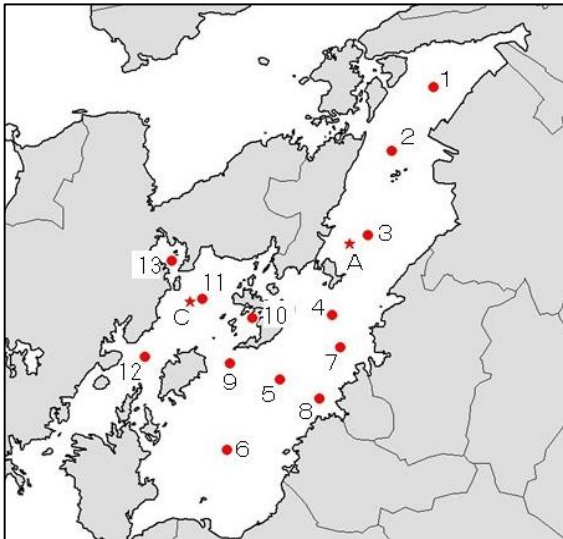


図 調査定点

種類	注意報	警報
シャットネラ属	5以上	10以上
コクロディニウム ポリクリコイデス	100以上	500以上